

# みんなで生き方を考えよう！

文責：道徳主任

道徳教育だより 12月号

上赤 義人

## 道徳教育の絶好の機会 冬休みに



中学校の道徳教育の内容として、24の項目があります。例えば、「父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。」「日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。」があります。

これらのことからについての生徒の意識調査が左の表にあります。多くの生徒が、家族愛をしっかりと感じており、また日本の伝統文化を大切にしようとする気持ちをいんでいます。

学校においては、道徳の授業を中心に、様々な場面でこれらを学習したりしていますが、是非、ご家庭でもこの冬休みに子どもたちと積極的に様々なことでふれあい、その中で年末・年始に関わる日本の伝統的な文化について語り合っていければいいと思います。

### 田原中生徒の道徳意識調査 (その3)

◎「あなたは家族とはなれ、遠くの学校の寮に入りひとり通うことになりました。あなたは、家族に時々手紙を書いたり、電話をしたりしますか。」

絶対そう思う67% たぶんそう思う26%  
たぶんそうしない6% 絶対そうしない1%

◎「日本には、外国にはない数々の伝統文化があります。あなたはこれらを大切にしていこうと思えますか。」

絶対そう思う40% たぶんそう思う45%  
たぶんそうしない14% 絶対そうしない1%

例えば、おせち料理に詰められる料理にはそれぞれちゃんと意味が込められています。  
黒豆：一年中「まめ(まじめ)」に働き「まめ(健康的)」に暮らせるようにとの願いが込められています。  
数の子：たくさんのお子があるということから、子孫繁栄の願いが込められています。

ます。

田作り：稲の豊作を願う気持ち、五穀豊穡の願いが込められています。

海老：腰が曲がるまで丈夫という長寿の願いが込められ、海老の赤色は魔よけの色とも言われています。

昆布巻き：「よろこぶ」の語呂合わせから祝いの儀には欠かせない食材です。

きんとん：「金団」と書き、その色から財産、富を得る縁起物とされています。紅白なます：紅白のおめでたい色は水引を表し、紅白の組み合わせは平和を願う縁起物です。

## 「絆 きずな」

今年のあらわす漢字一字として、選ばれたものです。先日、京都の清水寺で紹介されていました。今年、東日本大震災でのが忘れることのできないことのひとつです。この震災を通して、多くの人が、仲間との絆、家族の絆、自然や動物も含めた周りすべてとの絆などの大切さを感じたからでしょう。

家庭は、一方で、人間を産み育てる場所、疲れた自分を癒す、安らぎの場。しかし、もう一方で、つながりの深さゆえに人を苦しめる場ともなる。他人だったら、そんなことはないのに家族ゆえに。思いがあり、愛があるからそこに「ゆがみ」が生じる。他人だったら、絶対そんなことはないのに…

子どもは  
親子の第一の楽しみとして  
—父と母がともに健在で  
兄弟もつつがなく過ごしている—  
「つな」をあげている。

でも、これは、だれにとってもいつまでも続くものではない。  
早いか遅いかはあったとしても、  
居ることがあたりまえではない家族  
いま、もう一度  
その思い、その願い  
それぞれを愛をしっかりと受け止める。  
そして、自分からも愛を、注いでゆこう。

